



湘南

子ども大会～まほうのことは「ありがとう!」～

平塚市青少年指導員連絡協議会 会長 相馬 喜昭



平塚市は総数330名の青少年指導員が28小学校区ごとに分かれて毎年「子ども大会」を実施しています。

今年で47回目のこの大会は、家族ぐるみで参加出来、「明るい家庭づくり」「明るい地域づくり」を推進するのが目的です。

その28小学校区のひとつ、崇善地区では「みんなでつどおう!崇善夏まつり子ども大会～まほうのことは「ありがとう!」～」をテーマにし、子どもたち、中学生ボランティア、大人がみんなで「ありがとう」の言葉を使って積極的にふれあうという取組みを続けています。

マーチングバンドの演奏に始まり、七夕太鼓、よさこい、七夕踊り、子どもたちが運動会で踊った踊り、地域諸団体の方々の協力で、焼きそば、かき氷、ポップコーン、ヨーヨー、ストラック

アウト、ワイヤーマン等々のメニューで楽しんでもらう中、子どもたちには受付時チケット(食べ物券・遊び券・何でも1回使える券)が配付されます。「何でも1回使える券」では子どもが大人と「ありがとう」の言葉をかけあうとシールが1枚もらえ、5枚たまると何でも1回使えるという仕組みを作っています。

遊びで楽しむだけでなく、今年も「ありがとう」の言葉でたくさんの心と心をつないでくれた子ども大会となりました。



川崎

麻生区の魅力を楽しく発見

川崎市麻生区青少年指導員会 会長 松本 弘

麻生区は、里地里山や公園が多く、川崎市内でも有数の緑豊かな地域です。また、名所旧跡にも恵まれているので、麻生区の良いところを再発見して欲しい、麻生区を更に好きになって欲しい、という思いから、毎年9月の第一日曜日に「あさおわくわくウォーク」(ウォークラリー)を開催しています。地形の特徴だけが記載されているコマ図を頼りに、ゲームやクイズをしながらゴールを目指してチーム毎に歩きます。事前に設定されたタイムに、より近い時間でゴールしたチームが高得点となり、入賞チームには、麻生区産の採れたて野菜を袋いっぱいお渡ししています。

毎年多くの参加者を得て今年で31回目を迎えました。麻生区を大きく3か所(柿生周辺、新百合ヶ丘～多摩線沿線、百合丘周辺)に分け、飽きのこないコースの設定に苦心しながらも、当会の一大イベントとして、指導員一丸となって準備にあたっています。迷わずに無事ゴールした時の笑顔や、入賞して袋一杯の野菜を手にした笑顔を見るにつけ、今年も無事開催できて良かったと疲れが吹き飛び、また来年も!と励まされています。

麻生区青少年指導員会では、月4回の定例パトロールや各種イベント会場でのパトロールによる声掛けに加えて、「あさおわくわくウォーク」のように子どもたちが元気に楽しく遊びながら過ごせる場を提供し、子どもたちに健やかに育ってほしいと願っています。

